

習近平中国の「一帯一路」構想に秘めた狙い

— ユーラシアにおけるチャイナパワーの覇権的拡張 —

1 講演内容

習近平の中国は、「中国の夢」としての「中華民族の偉大な復興」を国家目標に掲げ、東に向けて海洋に、そして陸路と海路を通じてユーラシア大陸とその周辺海域を西に、その経済力と軍事力を背景としてチャイナパワーの覇権的拡張を推し進めている。チャイナパワーの覇権的拡張の波動が及ぶ関係地域や国家にとって、これに如何に対処するかは当該自国と地域の安全保障にとって大きな課題となっている。

日本安全保障戦略研究所では、海洋に向けて東漸するチャイナパワーを受け止め、それを阻止する壁を如何に構築するかについては、9月に国書刊行会から出版した『中国の海洋侵出を抑え込む 日本の対中防衛戦略』で詳細に論じた。

今回の公開セミナーでは、「一帯一路」構想を通じてユーラシア大陸とその周辺海域を西漸するチャイナパワーを取り上げ、その現状と狙いを明らかにするとともに、それが及ぼす地政学的影響について、以下の諸点から分析する。

- (1) 「一帯一路」構想とはどのようなものか
- (2) 「一帯一路」構想の狙い—「全ての道は北京に通ず」
- (3) 「一帯一路」構想の地政学的影響
- (4) 「一帯一路」構想に日本は如何に対応すべきか

2 講師：上野英詞（うえの ひでし）

愛媛県出身。日本大学大学院修士課程修了、1966年防衛庁入庁、防衛局調査2課米州班長、防衛研究所研究調整官、同主任研究官、防衛研究所図書館長を歴任。米ジョージ・ワシントン大中ソ研究所客員研究員（1984年～1985年）。

退官後、海洋政策研究財団研究員、笹川平和財団海洋政策研究所研究員を経て、現在、大東文化大学東洋研究所兼任研究員、日本戦略研究フォーラム政策提言委員、日本安全保障戦略研究所上席研究員

3 日時： 11月27日（月） 14:00～16:00 （開場： 13:40）

4 場所： ホテルグランドヒル市ヶ谷 3F 翡翠の間

5 参加費： ￥ 2,000

6 申し込み： e-mailでの申し込み

- ・宛先：kanri@ssri-j.com
- ・記入要領： 住所、氏名、e-mailアドレス、（勤務先及び役職名）
- ・受講定員： 先着60名（満員になり次第、申し込みを締め切らせていただきます）